

2025年度会員の皆さまは 自動継続です

11月中旬～ 「2026年度継続入会のお知らせ」 圧着ハガキを日本看護協会より順次お届けします。

・ 会員情報 に変更が

・ 口座情報 に ^{変更} _{不備} が

ある

ない

2026年度会費納入で
お手続きは **完了** です



Web・スマホで申請

キャリアースから
お手続きが必要です

看護協会
キャリアース



会 員 情 報

改姓・住所・勤務先の変更

会費納入方法

初年度クレジット決済未変更の方

口座情報不備

口座情報の変更

受付完了後
すぐに **反映**
されます

Web上でカンタンに変更できます

郵送でのお手続きを希望される場合は東京都看護協会に2026年度入会申込書をご請求ください。

退会手続きは東京都看護協会Webサイトにてご確認ください。

新規入会・再入会

お申込みはWebサイトから



- ・ 入会手続き方法
- ・ 会費納入について
- ・ 会員特典 など

お問い合わせ先

公益社団法人東京都看護協会 総務部 会員サービス係

Mail: nyukai@tna.or.jp TEL: 03-6300-5452 (会員サービス係直通)

〈受付時間〉月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝休日除く)

〈本冊子について〉

本冊子は東京都看護協会の令和6年度(2024年度)の事業実績を中心にまとめたものです。
当協会の活動内容を会員の皆様ははじめ多くの方に知っていただくことを目的に作成しました。

■ 本冊子PDF <https://www.tna.or.jp/kyokai/organization/annual/>

詳細な令和6年度事業実績はWebサイト掲載の総会要覧でご覧いただけます。

■ 総会要覧PDF <https://www.tna.or.jp/kyokai/organization/general/about2025r7/>

TNA Report 2024.04～2025.03

発行 令和7年9月
公益社団法人東京都看護協会
〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号
電話番号(代表): 03-6300-0730
<https://www.tna.or.jp/>



UD FONT
by MORISAWA



本書の無断複写・転載を禁じます。

公益社団法人
東京都看護協会

TNA Report

令和6年度 2024.04 - 2025.03

令和6年度(2024年度)の活動をお知らせします。

Top message

トップメッセージ



平素より東京都看護協会の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。令和6年は1月の能登半島地震にはじまり、自然災害の脅威を実感した年でした。皆様のご尽力により活動を続けてまいりました災害支援ナースは、改正医療法に基づく「災害・感染症医療業務従事者」として登録・派遣されるという国の仕組みになりました。また令和7年度東京都予算編成に対する東京都看護協会からの提案要求により「災害時看護体制整備事業」が新設され、有事の際の準備を東京都と推進していくことになりました。

地域包括ケアシステムの構築については、団塊の世代が75歳以上となる2025年(令和7年)を目途に各自治体で取り組みを進めてきました。前年度にあたる令和6年度はその取り組みの節目にあたる年度です。東京都看護協会では、2025年にむけた地域でのネットワーク構築をめざして平成31年度に発足した「地域包括ケア委員会」の活動の取りまとめを令和6年度に行いました。委員会は発展的に終了し、以後は各医療圏・地域の実状にあわせた看護職の活動として引き継ぐことになりました。今後も多方面の事業により、地域社会でのネットワーク活動を支援してまいります。

また、厚生労働省は同年12月に「2040年を見据えた新たな地域医療構想のとりまとめ」を公表しました。ここでは、患者が適切に医療・介護を受けられると同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できる医療提供体制の構築を目指して、今後の見通しを示しています。

混迷する社会情勢が続いていますが、看護職は常にベストを尽くして活動をいたします。当協会は、これからも役割拡大をめざす看護職の専門性の向上と、社会の人々の健康に寄与する事業に取り組んでまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年9月

公益社団法人東京都看護協会

会長 柳橋 礼子

公益社団法人東京都看護協会の基本理念

私たちは
看護の専門家として主体的に行動します
社会の仕組みづくりの変革者として活動します
人々の健康とQOLの向上に貢献します

公益社団法人東京都看護協会のシンボルマーク



「命と向き合うあなたを支えたい。」という看護職の思いを二つの人をモチーフとした形を組み合わせることによって表現しています。サポートする、ネットワークを創るというイメージを体現するとともに、看護の頭文字Kにも見えるようデザインしています。

1

社会・地域の看護ニーズへの対応のための看護提供体制の強化

地域で暮らすすべての世代の健康を支える看護職の活動を支援

- ◆ 第8次保健医療計画に基づく看護機能の強化に向けた事業創出と政策的アプローチの推進
- ◆ 看護職の処遇改善に向けた看護管理者の取り組みへの支援
- ◆ 各看護職ネットワーク間の連携強化及び交流の場の活性化を目指す、地区支部活動や委員会活動への支援

健康危機管理体制構築への支援

- ◆ 新たに法制化された災害支援ナースの育成
- ◆ 自然災害及び感染症危機管理に備える施設の体制構築と人材育成・BCP作成への支援

2

看護職の生涯学習支援と看護の質向上

専門職としてのキャリア形成と看護職のニーズを反映した生涯学習支援体制の構築

- ◆ 生涯学習ガイドラインの具現化のための継続的な学習プログラムの提供
- ◆ それぞれの看護職の所属先での生涯学習プログラムへの支援
- ◆ 看護職のウェルビーイングの向上を図る事業の実施
- ◆ 看護の質向上と人材育成に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)活用検討

3

看護人材の確保と定着促進

働きやすい職場環境改善への支援と潜在看護職の就労促進

- ◆ 人材確保対策のための情報発信と就業支援によりマッチング率を向上(東京都ナースプラザ事業)
- ◆ 看護職の職業人生の再考とプラチナナースが活躍できるための就業環境の整備(東京都ナースプラザ事業)
- ◆ 看護補助者の活用と多職種とのタスクシフト・タスクシェアに向けた支援

4

組織の強化

職能団体として組織強化

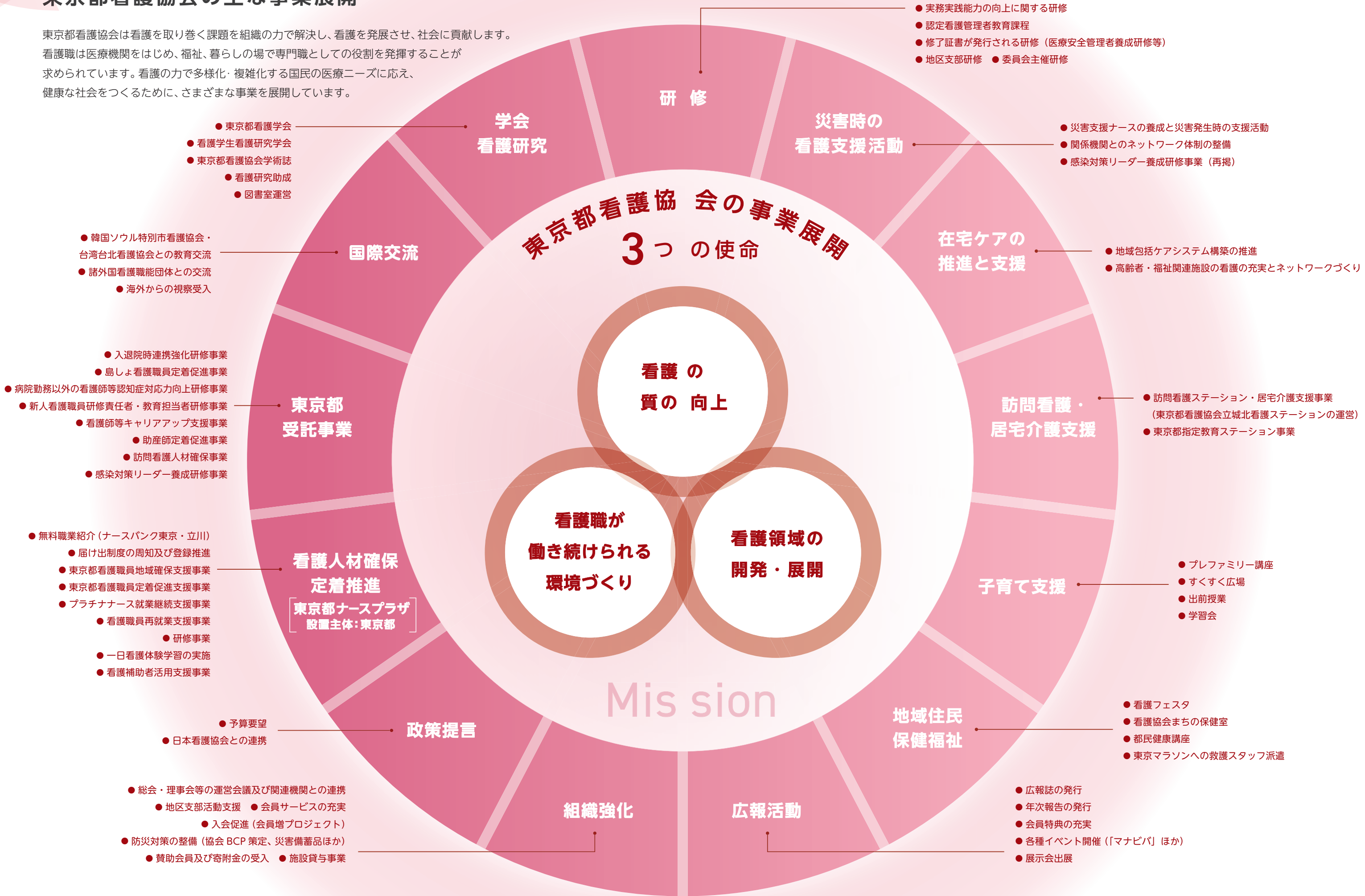
- ◆ 会員ニーズを最優先とする事業展開
- ◆ 会員・賛助会員の満足度向上を図り会員数拡大や産業界との相互事業の一層の推進
- ◆ 城北看護ステーションの公益事業の拡大などの機能強化

未来の看護職にむけた活動

- ◆ 地域・学生・若者層にむけた看護職の魅力発信

東京都看護協会の主な事業展開

東京都看護協会は看護を取り巻く課題を組織の力で解決し、看護を発展させ、社会に貢献します。看護職は医療機関をはじめ、福祉、暮らしの場で専門職としての役割を發揮することが求められています。看護の力で多様化・複雑化する国民の医療ニーズに応え、健康な社会をつくるために、さまざまな事業を展開しています。



令和6年度の主な事業実績



令和6年度の新規研修ピックアップ

- **新人看護職員のための
社会人基礎力習得セミナー(9回)** …… 受講者総数 **1,047** 名
👉 1階の大研修室が新人看護職でいっぱいになりました。詳細は9ページで。
- 精神科身体合併症のアセスメントと看護 …… 受講者数 **26** 名
- ジェネレーションギャップを乗り越えて協働するチーム医療
—Z世代の看護師の育成と対処法へのヒント— …… 受講者数 **73** 名
- 外来における在宅療養支援能力向上のための研修(2回) …… 受講者総数 **86** 名
- 自ら考えて、行動する人を育成するコーチング(2回) …… 受講者総数 **132** 名
- 被災した場合と被災地へスタッフを安全に送り出すために
(看護管理者向け災害対応研修) …… 受講者数 **46** 名
- 組織における生涯学習支援の取り組み方法を学ぶ …… 受講者数 **37** 名
- 臨床経験を活かすためのブラッシュアップ研修
—最新のスキンケアから褥瘡予防・治療まで— …… 受講者数 **15** 名
- 学会・施設内発表に役立つ実務実践のまとめ方 …… 受講者数 **50** 名
- 心不全患者の緩和ケアと意思決定支援 …… 受講者数 **46** 名
- 心不全患者の再入院を防ぐための看護 …… 受講者数 **17** 名
- マウスケアを学び誤嚥性肺炎の再発を防ごう! …… 受講者数 **52** 名
- 医療DX導入のヒント—医療DXの現状と看護への展望— …… 受講者数 **42** 名
- ヒューマンエラーとインシデントレポート …… 受講者数 **66** 名

※実施回数・受講者数は次ページの「実務実践能力の向上に関する研修」の一部です。



学会

- 東京都看護学会
研究報告22題
実践報告36題 …… 参加者数 **423** 名
👉 前年度より120名増の参加者があり盛況となりました。
- 看護学生看護研究学会
[オンデマンド視聴]
…… 参加者数 **1,693** 名



災害支援ナース

- 災害支援ナース養成研修
…… 修了者総数 **205** 名

👉 法制化を受け、6年度から日本看護協会委託研修として実施しています。



研修・交流会・イベント事業

- **実務実践能力の向上に関する研修** …… **122** 研修 / 受講者総数 **5,173** 名
👉 実践能力を発揮する場面と習熟段階(レベル)に応じた研修を実施しています。
- **認定看護管理者教育課程** …… 修了者総数 **374** 名

ファーストレベル(3回)	修了者数 280 名
セカンドレベル	修了者数 66 名
サードレベル	修了者数 28 名

👉 日本看護協会が定める認定制度に基づくカリキュラムです。6年度はファーストレベルの回数を2回から3回に増やして実施しました。
- 医療安全管理者養成研修(3回) …… 修了者総数 **223** 名
- 看護補助者活用推進のための看護管理者研修(5回) …… 受講者総数 **480** 名
- **地区支部研修(25回)** …… 受講者総数 **1,131** 名
👉 6つの地区支部でも研修を実施しています。どの地区支部研修にも参加でき、会員は受講料無料です。
- 三職能合同交流集会 …… 参加者数 **94** 名
- 地域包括支援センターで働く看護職(保健師・看護師)の交流会 …… 受講者数 **72** 名
- 助産師のネットワーク強化のためのオンライン情報交換会
「コネミドTOKYO」(10回) …… 参加者総数 **111** 名
👉 前年の5年度に発足。「コネミド」とはつながる(be connected)と助産師(midwife)を意味する造語です。



東京都ナースプラザ事業

- 再就業支援 …… 求職登録者(月平均) **2,906** 名
- ふれあいナースバンク・看護のお仕事応援フェア …… 参加者総数 **628** 名
- 1日看護体験学習 高校3年生対象 …… 参加者総数 **404** 名
- 1日看護体験学習 高校生・中学生・社会人対象 …… 参加者総数 **1,193** 名
- プラチナナース就業継続支援セミナー 看護職向け(4回) …… 受講者総数 **836** 名
施設管理者向け(2回) …… 受講者総数 **187** 名
- 看護のお仕事応援フェア …… 来場者数 **484** 名



令和6年度 トピックス

TOPICS 2024

Topic 1

新人看護職員のための社会人基礎力習得セミナー

令和6年度から新たな協会事業として、新人看護職員のための社会人基礎力習得セミナーを開始しました。このセミナーは、施設の看護管理者や教育担当者からのご要望を受け企画したものです。厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン」に基づくプログラムにより看護職員として必要な基本姿勢と態度を身につけて、多様な人々とかわりながら業務を遂行できる実践能力を習得することを目的としています（参加者数は令和6年度1,047名、令和7年度1,218名）。

また12月には「社会人基礎力 成長を促すための方法」というテーマで、看護教育機関の教員と施設で教育支援をされている看護管理者を対象とした研修会も

開催しました。若手の傾向・価値観や心理的欲求を理解し、個々の特性に合った指導法を学ぶことで、自信を持って育成に取り組めるよう支援しています。



Topic 2

東京都看護学会

令和6年度に学会名称を「東京都看護学会」に変更し開催しました。これは学会を研究発表のみならず、実践報告や看護職相互の交流・親睦を図る場として広く展開するためです。

テーマは「見つめなおす看護のちから ～つなぐ つながる そして未来へ～」。特別講演、口演発表、企画セッション等で活発な意見交換が行われ、混沌とした社会であるからこそ看護のちからをみつめなおし、未来へとつないでいくことを思い描ける学会となりました。



Topic 3

東京マラソン 2025 医療救護

当協会は2007年の第1回大会から医療救護活動に協力しており、令和6年度も2025年3月2日に開催された東京マラソン2025の医療救護所で15名の看護職が活躍しました。



訪問看護・居宅介護支援事業（城北看護ステーション）

- 訪問看護事業 …… 延べ訪問件数 **8,956** 件
- ケアプラン件数 …… 延べ **640** 件
- 教育ステーション研修 …… 参加者総数 **127** 名

利用者数や1回あたりの訪問時間数の増、また緊急時や重症度の高い方への訪問件数増により昨年度を大幅に上回る黒字経営となりました。



地域住民向け事業

- プレファミリー講座（6回） …… 参加者数 **92** 組
- すくすく広場 …… 参加者数 **4** 組
- 出前事業（4件） …… 参加者総数 **485** 名
- 看護フェスタ …… 協力団体 **24** 団体 / 一般参加者 **186** 名
- 看護協会まちの保健室（14回） …… 参加者総数 **378** 名



情報発信等

- 研修申込手続きのDX化を推進
研修受講料のペーパーレス決済の運用開始
「東京都看護協会アプリ」のリリース
- マナビバ 目からウロコの看護セミナー
参加費無料のスキルアップイベント
…… 受講者数 **71** 名
- ナースのための資産形成コトはじめ
3回開催 会員参加費無料
…… 受講者総数 **244** 名
- メディアセンター（図書室）
…… 入室者数 **2,087** 名



組織運営

- 通常総会 …… 参加代議員数 **200** 名 / 全代議員数 **233** 名
令和6年6月20日に開催され、議案はすべて承認されました。
- 特別講演（通常総会終了後開催）
「令和6(2024)年能登半島地震からの53日間
いのちと暮らしをまもるナースたち」
講師：石川県看護協会会長 小藤幹恵氏
- 理事会 …… **8** 回開催



東京都予算に対する要望活動

当協会は看護職の職能団体として、現場からの声を課題として整理し、政策の力でその解決を図るべく、東京都の次年度予算に対する要望活動を行っています。その結果、令和7年度東京都予算には、災害支援ナースの育成支援や医療DX推進、看護職員等宿舍借り上げ支援事業（新規事業）等が盛り込まれました。

要望事項

I 2040年に向けた「誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる社会」と「人々の健康生活の実現」をめざした看護機能の強化

II 都民の健康生活を支えるための看護職の生涯学習支援と看護人材確保及び看護職の処遇改善

要望日程

【令和6年】

8月27日（火）

8月28日（水）

9月2日（月）

9月2日（月）

9月5日（木）

10月7日（月）

10月31日（木）

12月4日（水）

東京都保健医療局長

都民ファーストの会 東京都議団

東京都議会自由民主党

東京都議会立憲民主党

都議会公明党

日本共産党東京都議会議員団

自由民主党東京都支部連合会

東京都知事



I 2040年に向けた「誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる社会」と「人々の健康生活の実現」をめざした看護機能の強化

(1) 健康危機管理体制の充実とさらなる推進にむけた専門性の高い看護職の配置と活用への支援(重点要望)

能登半島地震では、被災地域の医療機能を確保するため、東京都から延べ192人(全国から延べ2,982人)の看護師が派遣された。新型コロナウイルス感染症は、現在5類感染症となったものの、新興感染症に対する備えは早急に整える必要がある。

こうした健康危機管理において、看護職が果たす役割は大きく、その確保に向けた取組みを着実に進められたい。

① 専門的な資格を持つ看護職(特定行為研修修了者、専門看護師、認定看護師)の活用拡大と育成に向けた支援の拡充

東京都は、専門的な資格を持つ看護職(特定行為研修修了者、専門看護師、認定看護師)の育成支援を実施されているが、充分な人数の確保には至っておらず、規模の大きな急性期病院に集中している現状がある。また、在宅で特定行為研修の実習受け入れ体制が整備されておらず、研修修了者の活用も進んでいない状況にある。

- 専門的な資格を持つ看護職が、所属以外の施設において、看護実践と相談、教育等を行う場合、その間の業務に支障が生じる場合があることから、派遣元となる所属施設への支援を検討されたい。
- 在宅(医療機関)領域における特定行為研修者の実習の受け入れ体制の整備を図られたい。
- 200床未満の中小規模病院、慢性期機能の病院、訪問看護ステーション、介護施設における育成への支援を拡充されたい。

② 首都直下地震など自然災害や新興感染症に備えるための災害支援ナースの育成への支援

医療法・感染症法改正により、令和6年度から災害支援ナースは国の制度となり、日本看護協会を通じて研修事業を実施する

こととなった。
研修修了者の確保に向け、協定医療機関での研修派遣や必要な資器材整備のための支援について検討されたい。
また、災害支援が可能な看護職確保のため、潜在看護師の活用についても検討されたい。

(2) 全世代の健康生活を支える医療・看護サービスの充実と地域格差の是正

地方分権の観点から住民に身近なサービスは区市町村で実施をされ、住民の要望に応じたサービスが提供されている。
一方、サービス提供内容、利用者費用負担等の地域格差が課題となっていることから、区市町村でのサービスの標準化を図るとともに、具体的な利用者ニーズに応えるため各サービス提供施設への支援など区市町村への働きかけを検討されたい。また看護職の参画と活用を推進されたい。

- 総合的なマネジメントを担うことのできる保健師の配置
健康課題の複雑化・多様化に伴い、保健・医療・福祉・介護等において保健師の活動領域は拡大していることから、総合的なマネジメントを担う保健師の配置を都内区市町村で検討されたい。
- 医療と介護の連携強化
在宅療養を推進していくためには、医療・介護サービス提供体制の構築が不可欠となる。医療と介護の連携強化をはかるため、区市町村主催の連携会議等に看護職(病院・訪問)が参画できるよう都内の自治体に働きかけられたい。
- 産後ケア事業の推進
子育て支援において看護職が実施する産後ケア事業は、切れ目

のない良質なサービスとして不可欠である。区市町村間でのサービスの標準化を図るとともに、具体的な利用者ニーズに応えるためそれぞれのサービス提供施設への支援を検討されたい。

● 医療的ケア児への看護職の関わりと受け入れ体制の充実

医療的ケア児は日常生活だけでなく、学校生活においても看護職による関りが欠かせない状況にあるが、その支援は学校の設置者が実施主体となり実施されていることから、区市町村の取組みに差が生じている。サービス水準を維持し、利用者と家族にとって安全・安心なサービスが提供されるよう、区市町村へ働きかけをされたい。

また、学校看護師確保が困難な場合には、日頃から医療的ケア児の看護を行っている訪問看護師の活用を検討されたい。

● 看護小規模多機能型居宅介護の開設支援

「地域密着型サービス等整備推進事業」による支援が行われているが、一部の区市町村にとどまっている。区市町村により、

II 都民の健康生活を支えるための看護職の生涯学習支援と看護人材確保及び看護職の処遇改善

日本看護協会の調査では、2023年度の看護職の離職率は前年同様で、改善がみられない。また、少子高齢化の影響により看護職を希望する人材の不足も懸念されている。看護職が専門性を高めるとともに臨床実践能力の向上を図り、その力を発揮していくための勤務環境改善など以下の取り組みをお願いしたい。

(1) 看護職の勤務環境改善と処遇改善(重点要望)

- ① 看護職の働き方と学習環境に配慮した勤務体制、人事評価・賃金制度構築を実施する施設への支援を拡充されたい。
都からの支援により積極的に取り組み成果をあげた施設の事業を広く広報・表彰されたい。
また、子育てや介護などの事情で離職している看護職が、DXをはじめとした最新の医療・看護を学習できるリカレント教育体制の構築と、看護職自身の努力と意欲を評価する賃金制度を提案されたい。

(2) 看護職の人材確保と定着促進

- ① 若い世代に看護職の魅力を発信できる機会を増やすとともに、若手の看護職の定着促進を図るためのキャリア相談窓口体制の設置を検討されたい。
- ② 新卒を含む看護師の求職活動への細やかな対応をめざしたナースバンク事業の充実のため、拠点・人員を拡充されたい。
- ③ 看護補助者の確保・定着の促進
業務の複雑化・多様化する看護現場において、看護師の負担を軽減し、本来の業務に重点的に取り組むためには、看護師を支える看護補助者を配置することが必要である。一方、看護補助者は特に資格を必要としない職種であり、その業務内容があまり知られていないことから、看護職とは異なる方法で広報活動や求人活動を行う必要がある。

この事業の活用に差があることから、積極的に活用がされるよう、区市町村に働きかけをされたい。

(3) 看護業務の効率化をめざしたDXの推進(重点要望)

看護は、専門知識や経験に基づく対人業務が基本であり、重い職責を担うことから、出来る限りその負担を減らし、直接患者や利用者に接することに、時間と労力を振り向けるべきである。
看護業務では、まだDXを導入する業務が多く残されていることから、先端技術を活用した業務の効率化と、それを活用する看護職の資質の向上を図る必要があるため、特に以下の取り組みへの支援をお願いしたい。
● DX推進とICT活用のための看護職への教育支援
● 積極的に取り組む施設への看護DX推進人材育成支援
● DX推進のための標準規格の策定について東京都の積極的な働きかけ

そのため、こうした業務を進めるために必要な人員や機材の確保に支援をお願いしたい。

- eナースセンターによる看護補助者の確保にかかる予算を拡充されたい。

(3) 看護管理能力の高い看護職を育成するための支援体制の拡充を図られたい。

保健所における人材育成体制及び、200床未満の中小規模病院・訪問看護ステーション・介護施設等の看護管理者が受講しやすい環境を整備されたい。
また、東京都看護管理者連絡会の参加領域の拡大と更なる活用と連携強化を検討されたい。

(4) 看護基礎教育4年制化について

医療の高度化、地域完結型医療推進に対応するためには、最新の医療・看護水準を踏まえたより高度な専門課程が必要となっており、看護職の育成において修業年限の延長が必須である。
そのため、「看護基礎教育4年制化」を国に要望するとともに、東京都においては、都立大学や都立看護専門学校で率先して実施されたい。

(5) 准看護師の養成停止と看護師免許取得のための進学支援の充実について

准看護師の教育内容は、今日の医療ニーズに対応し多職種と協働するなどの役割を果たすのには十分ではない。安全な医療の確保という観点から准看護師養成を停止し、看護師への移行に力を入れるよう東京都として取り組むとともに、国に対して働きかけられたい。
准看護師が看護師免許を取得するための進学支援を検討されたい。

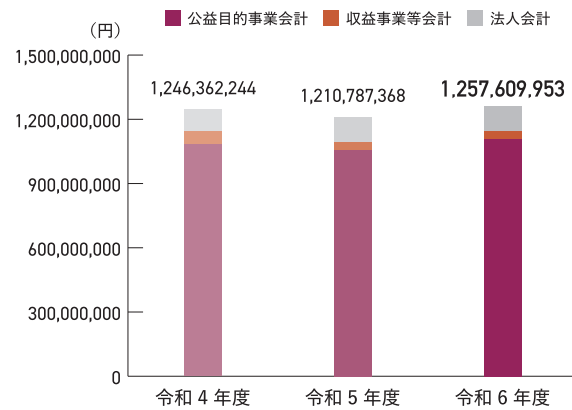
決算報告ハイライト

決算規模（一般正味財産増減の部）

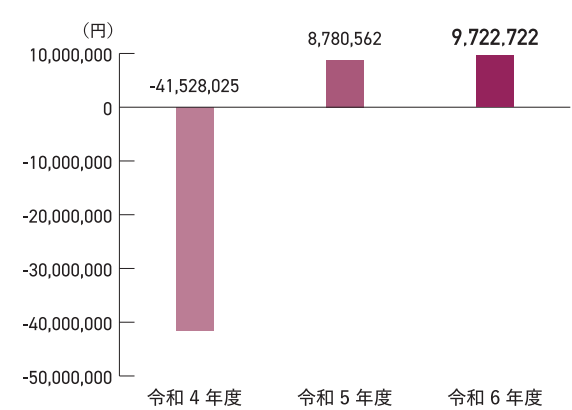
(単位：千円)

区分	令和5年度	令和6年度	増減
経常収益	1,210,787	1,257,609	46,822
経常費用	1,202,006	1,247,887	45,881
当期経常増減額	8,781	9,722	941

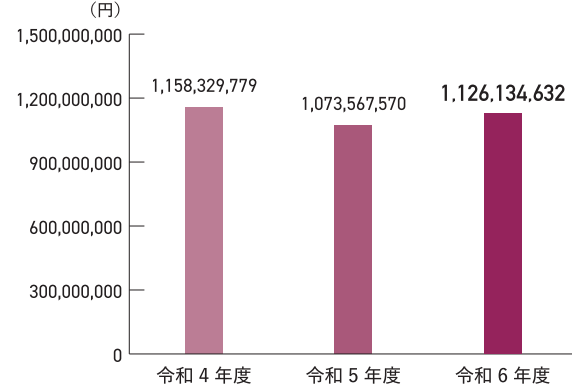
経常収益の推移 12億5,760万円



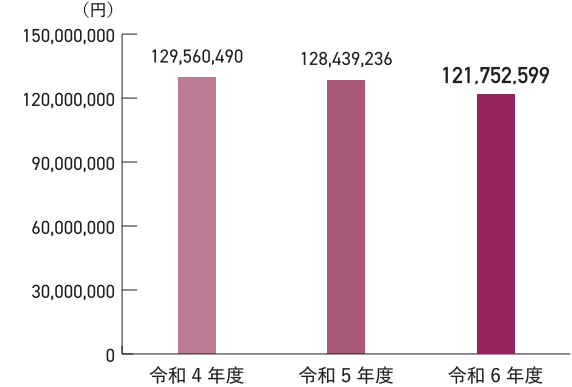
経常増減額の推移 972万円



事業費の推移 11億2,613万円

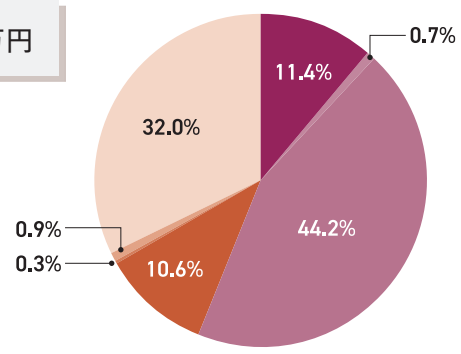


管理費の推移 1億2,175万円



公益目的事業会計の事業費の内訳 (定款事業別) 10億8,929万円

- 看護職の資質の向上に関する事業 123,644,177円
- 看護業務の開発・改善及び情報の提供に関する事業 7,435,668円
- 看護職の人材確保と定着推進に関する事業 481,223,168円
- 在宅ケアの推進と支援に関する事業 115,514,994円
- 地域住民の保健福祉に関する事業 3,007,056円
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業 9,888,831円
- 公益共通 348,585,267円

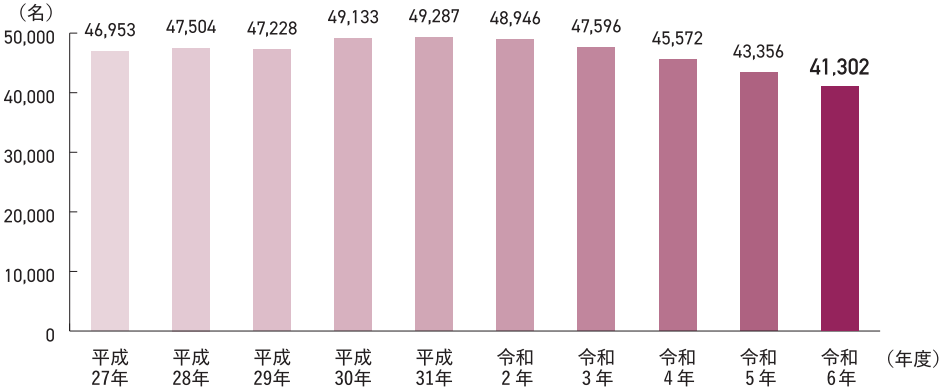


会員の状況

会員数 (令和7年3月31日現在)

41,302名

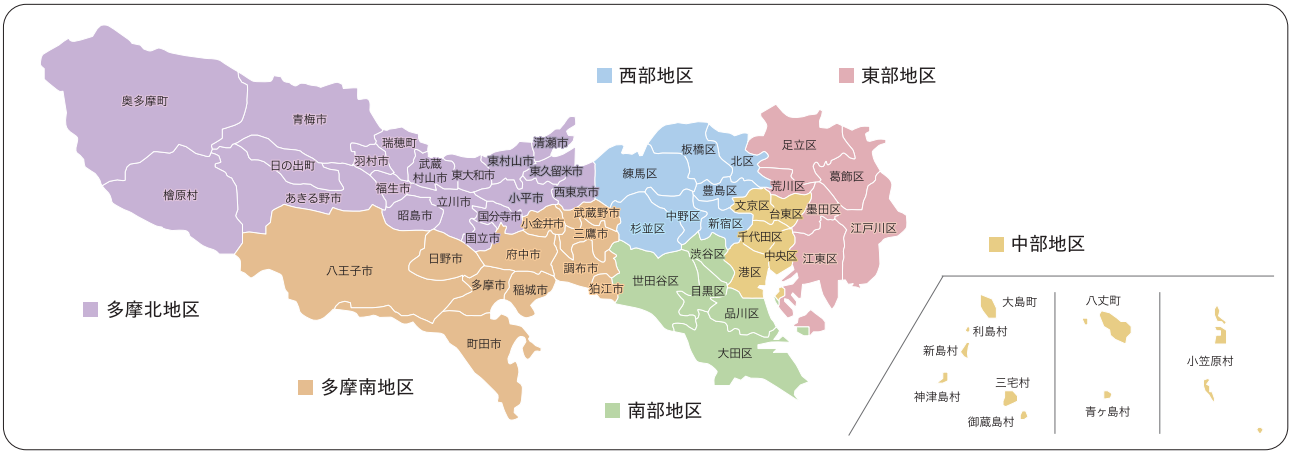
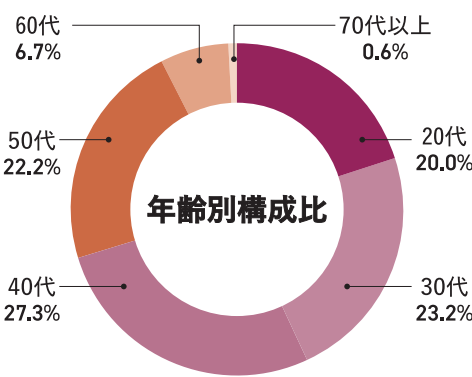
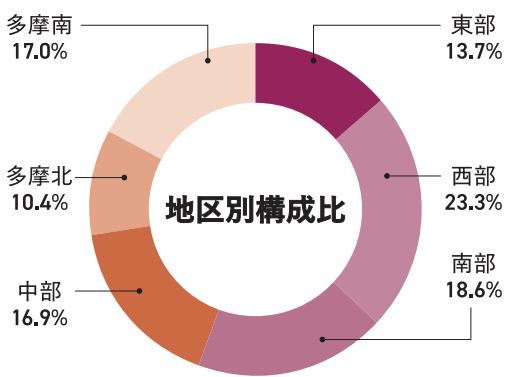
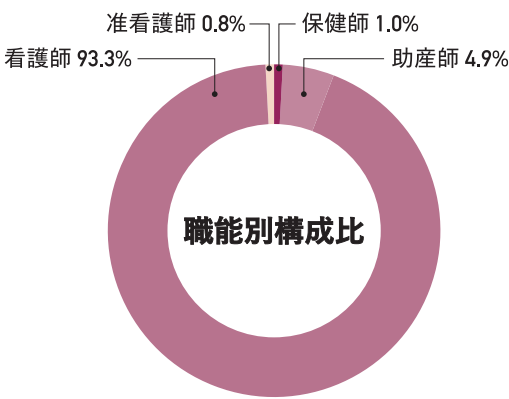
会員数の推移



職能別会員数 (令和7年3月31日現在)

	女	男	合計	東京都内就業者数	入会率
保健師	386	24	410	4,821	8.5%
助産師	2,026	0	2,026	4,184	48.4%
看護師	35,585	2,960	38,545	125,480	30.7%
准看護師	288	33	321	11,291	2.8%
合計	38,285	3,017	41,302	145,776	28.3%

*就業者数は令和4年12月31日現在の「東京都における看護師等業務従事者届集計報告」による。
*退会・他県への移動等の会員数1,484名を含む。



協会へのご支援

令和6年度 寄附者・賛助会員御芳名

公益社団法人東京都看護協会へお寄せいただきました令和6年度の寄附は、
教育・研究活動への支援、看護職確保定着等の
公益事業充実のために活用しております。
ご寄附賜りました方々及びご支援いただいている賛助会員の皆様への感謝の意を込め、
公開のご承諾をいただいた方についてご紹介いたします。

一般寄附金寄贈者

〔個人〕



大島 浩幸 様
佐藤 優 様
羽野 順子 様
久下 裕司 様

一般寄附金寄贈者

〔法人〕



株式会社ジンテック 様
東洋羽毛首都圏販売株式会社 様
株式会社オンワードコーポレートデザイン 様
中ノ郷信用組合 様

賛助会員



東洋羽毛首都圏販売株式会社 様
ピジョン株式会社 様
株式会社山菊 様
大成祭典株式会社 様
株式会社トータル保険サービス 様
フォーク株式会社 様
日本光電工業株式会社東京支社 様
テルモ株式会社 様
株式会社キューネットワークス 様
アイホン株式会社 様
一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会 様
株式会社日本ケアコミュニケーションズ 様
ニプロ株式会社東京第一支店 様
株式会社学研メディカルサポート 様
公益社団法人東京都助産師会 様
サクラグローバルホールディング株式会社 様
株式会社シーエイチシー 様
シーホネンス株式会社 様
損害保険ジャパン株式会社 様
アルケア株式会社 様
武蔵医研株式会社 様
ボイト株式会社 様
(順不同)

功績顕彰

名誉会員

西内 千代子 西内ヘルスコンサルティングオフィス

1970(昭和45)年4月看護師として宇治黄檗病院勤務。その後東海通信病院勤務を経て、1974(昭和49)年保健師として松下電器健康保険組合健康管理センターの精神衛生部で勤務し、主に精神疾患で休業中あるいは復職後の従業員の職場適応への支援を行いました。また、1977(昭和52)年より東京都港区芝保健所で勤務し、統合失調症やアルコール依存症の方の受療や家族間調整、産後うつによる児への虐待問題など都会で暮らす住民の健康問題解決に精力的に取り組みました。その後企業の保健相談室や健康保険組合健康管理室等で働く人々の健康と安全な労働環境づくりに尽力しました。産業領域での保健師活動の社会的認知を高めるため2008(平成20)年3月に「産業保健師活動研究会」を立ち上げ初代会長を務めました。また当協会副会長として2011(平成23)年6月～2017(平成29)年6月までの6年間会長を補佐し、当協会事業「中堅期保健師コンサルテーションプログラム」研修の導入に尽力するとともに、産業保健師育成研修・産業保健師自主勉強会開催の基盤整備に深く関与しました。以上のように、氏は産業保健の先駆けとして労働者の健康の保持増進の重要性を確立するとともに、その基盤となる産業保健サービス充実、産業保健師活用促進のための仕組みづくりに貢献しました。保健活動への社会的要請に応えるべく看護教育や研修講師などを通して次世代の看護職の育成に尽力した功績は顕著であり、東京都看護協会名誉会員として適任と判断しました。

令和6年度 東京都看護協会会長賞受賞者

公益社団法人東京都看護協会 協会長表彰規程第3条の該当者

- (1) 通算 20 年以上会員で、本会への功労が認められた者
- (2) 本会の役員 2 期以上、委員 3 期以上従事した者
- (3) 看護業務及び研究、教育に20 年以上従事し、功績があったと認められる者

藤野 恭子	財政担当理事	三浦 由美子	広報委員会委員
佐久間 あゆみ	東部地区支部理事	大島 久美	広報委員会委員
志賀 逸子	看護師職能委員会（領域Ⅱ）委員	長田 恵子	認定看護管理者教育課程・教育運営委員会委員
影山 美子	看護制度委員会委員	井桁 洋子	認定看護管理者教育課程・教育運営委員会委員
武田 悦恵	感染対策委員会委員	三橋 恭子	中部地区支部選挙管理委員・会計・書記
椿 貴年	災害対策委員会委員	児玉 知実	中部地区支部選挙管理委員
大田 千恵	広報委員会委員	鈴木 めぐみ	中部地区支部会計

令和6年度 各賞受賞者

春の叙勲



瑞宝双光章 小見山 智恵子
瑞宝双光章 山口 千春
瑞宝単光章 吉浦 里香

秋の叙勲



瑞宝双光章 小坂 智恵子
瑞宝単光章 野上 順子
瑞宝単光章 宗方 麻理
瑞宝単光章 遠藤 紀子

公益社団法人日本看護協会会長表彰

令和6年6月6日



上垣 佳恵
見目 廣乃
後藤 薫
市橋 富子
木村 眞喜
若林 稲美
益田 亜佐子
井上 富士子